

地域研修カリキュラム

※講師等との調整により、カリキュラムに若干の変更の可能性があります。

◇：受講任意 ●：受講必須

オンデマンド講義
視聴時間約4時間
※受講必須のみの場合

概 要		単 元 名 / 講 師			分
災害対応業務全般					
防災業務の全体像	1	防災行政概要	内閣府	◇	20分
法体系	2	災害法体系と災害対策基本法の概要	内閣府	◇	15分
防災計画	3	防災計画の概要	内閣府	◇	15分
地域特性	4	地域の災害特性	高知地方気象台	●	60分
応援・受援の基礎知識					
概要	5	受援体制と受援計画の概要	内閣府	●	15分
受援体制と計画／ 派遣制度／取組み事例	6	地方公共団体間の相互応援と受援体制	内閣府 総務省 大野城市	●	130分
受援対象業務の概要					
－	7	避難所の開設・運営の内容	内閣府	●	13分
	8	災害廃棄物処理の概要	環境省	●	12分
	9	被害認定調査・罹災証明書の概要	内閣府	●	10分
	10	インフラ復旧の概要	国土交通省	◇	15分
	11	災害ケースマネジメントの概要	内閣府	◇	13分
物資の調達・輸配送					
国視点	12	国としての物資の備蓄および災害時における物資の調達・輸送	内閣府	◇	11分
民間視点	13	救援物資の調達	コメリ災害対策 センター	◇	35分
	14	救援物資の輸配送	佐川急便	◇	30分
新物資システムの操作演習	15	救援物資ロジスティクス演習	内閣府	◇	30分

リアルタイム研修

時間	単 元	時間	講 師	単元の概要
09:30 ～09:40	- (オリエンテーション)	10分	(事務局)	
9:40 ～10:30	1 【講演】 事例から学ぶ応援の実態と課題	50分	柴野 将行 (吹田市)	能登半島地震時に輪島市に応援に入った職員の実体験を踏まえた講演を通じて、応援の実態と課題を学ぶ。
10:30 ～10:40	- (休憩)	10分		
10:40 ～11:30	2 【講演】 事例から学ぶ受援の実態と課題	50分	有吉 恭子 (吹田市) 中本 健太 (輪島市)	能登半島地震時の受援調整の応援に入った職員および、受援を経験した輪島市職員の実体験を踏まえた講演を通じて、受援の実態と課題を学ぶ。
11:30 ～12:30	- (昼休み)	60分		
12:30 ～14:05	3 【エスノグラフィー演習】 災害対応過程と態度を学ぶ	95分	鍵屋 一 (跡見学園女子大学)	災害時の受援を経験した自治体職員の体験談を教材として読み込み、教材から読み取った知見・教訓をグループワークで整理することで、災害発生前後の活動を確認し、行政の対応の流れや災害対応上の課題、活動上のポイントを学ぶ。
14:05 ～14:15	- (休憩)	10分		
14:15 ～15:45	4 【演習】 受援業務における初動対応演習	90分	元谷 豊 (サイエンスクラフト)	災害発生初動期の応援要請と応援受入れのそれぞれの状況で検討する演習を通じて、応援要請や応援受入れ時の市町村の役割と、市町村による応援要請における県の役割を学ぶ。
15:45 ～15:50	- (休憩)	5分		
15:50 ～16:35	5 【演習】 ふりかえり	45分	進行:事務局 講評:鍵屋 一 (跡見学園女子大学)	研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを演習を通して学ぶ。
16:35 ～16:45	- (閉講)	10分	(事務局)	

コーディネーター
【プロフィール】

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部
まちづくり学科 教授
鍵屋 一 氏

2015年より現職。内閣府「被災者支援のあり方検討会座長」、内閣府「個別避難計画作成モデル事業アドバイザーボード座長」など。
内閣府地域活性化伝道師、一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会代表理事、災害福祉研究会共同代表理事、NPO法人東京いのちのポータルサイト副理事長、防災教育普及協会理事、など。